

土建 第191号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

大牟田市長 古賀道雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より当市の道路事業にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号にて依頼がありましたことについて別紙のとおり回答します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本市においては、有明海沿岸道路及びその他の幹線道路の整備が進められていますが、財源が乏しい地方都市としましては、道路の整備水準はまだ低く、都市間を連結する幹線道路等の整備は緊急の課題であります。

また、修繕改良を必要とする市道(生活道路)も多く、これらの市道の整備は幹線道路の整備とあわせて緊急の課題となっております。

そのような中、道路特定財源の一般財源化に当たっては、極めて厳しい地方財政の状況、地方道路整備の必要性から、更なる地方税財源の充実強化を図ることが必要であると考えます。

具体的な措置として、1点目は国税、地方税ともに暫定税率を含めた現行税率の維持をお願いしたいと思います。2点目は地方の必要とする道路整備が引き続き計画的に実施できるよう、これまで地方に配分されてきた額を「地方枠」として確保していただくようにお願いします。

幹線道路の整備や市道の改築、修繕改良に適用されてきました地方道路整備臨時交付金制度を維持存続していただき、地方の道路整備における、財政運営に支障が生じないよう、国の責任において適切な財源措置を講じていただくようにお願いします。

今後も財源の確保を強く要望し、地方の声として聞き取っていただきたいと思います。

○現状と課題

道路ネットワークの整備は、各種プロジェクトの支援、さらには港・空港との連結による物流の向上等、産業の振興や市民生活の利便性向上に欠かせない重要な課題であります。

本市の中央部を南北に走る国道 208 号は有明海沿岸地域を結ぶ重要な広域幹線道路であるとともに、市民生活を支える大動脈としての機能を有する道路です。そのため、通過交通と地域内交通が輻輳しており、交通渋滞をはじめとする交通環境の悪化が見られます。渋滞緩和による広域的な交通の促進や、企業誘致等地域の活性化を図るためには、地域高規格道路有明海沿岸道路の更なる整備が必要となっています。

主要地方道南関大牟田北線は、九州自動車道南関インターチェンジと有明海沿岸道路を結ぶ重要な広域幹線道路です。また、主要地方道大牟田高田線バイパスも、早期に整備が必要な本市の南北幹線道路の一つです。二つの道路の経路上には、九州新幹線新大牟田駅(仮称)が建設予定であり、交通結節点となる新駅周辺地区整備と合わせて、早期の整備が必要であります。

広域幹線道路と一体となって機能する市域内の幹線道路の整備に加え、市民に密着した市道(生活道路)の整備も必要であります。幅員狭小による通行障害、側溝等の排水施設の未整備箇所や老朽化による排水障害、舗装の損傷による通行障害等、市道の修繕改良を必要とする箇所が多く見られます。

しかし、財源不足により、整備までに数年の時間を要する状況にあります。

②-2 地域の目指すべき将来像

福岡県 大牟田市

大牟田市では、総合計画のキャッチフレーズとして『やさしさとエネルギーあふれるまち・おおむた』を掲げており、「いこい、やすらぐ安全都市」、「活力と創意にあふれる産業都市」、「市民と歩む自立都市」を目指しています。

この実現のためには、人と人、人と地域とのつながりから生まれるやさしさやエネルギーが必要不可欠であり、これらを生み出す「道路」は欠くことのできないインフラだと考えています。

交通体系については、プロジェクト支援及び産業や市民生活の利便性向上のために、道路、鉄道、港湾等の交通ネットワークの強化に努めます。

幹線道路については、南北の交通の軸となる有明海沿岸道路や大牟田高田線バイパスの整備をはじめ、九州自動車道とこれら2路線を有機的に結ぶ南関大牟田北線、南部地域における有明海沿岸道路のアクセス道路となる都市計画道路新港町勝立線の整備により、市内の幹線道路が接続し、環状化となることを目指すものであります。

市民に密着した市道(生活道路)については、道路改良により幅員狭小による通行障害の解消や側溝改良により未整備箇所や老朽化による排水障害の解消及び舗装改良により損傷等による通行障害の解消を行うことで、安全で快適な道路空間の確保に努め、市民の生活環境の向上を目指すものであります。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

福岡県 大牟田市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・都市交通の快適性、利便性の向上	【幹線道路】 ・有明海沿岸道路の整備 (三池港 IC までの区間の早期整備) ・南関大牟田北線の整備 ・大牟田高田線バイパスの整備 ・新港町勝立線の整備 【市道】	交通渋滞の緩和や各種プロジェクトの支援、道路・港との連結による物流の向上、産業の振興や市民生活の利便性向上等の効果が期待できる。 道路改良により幅員狭小による通行障害の解消、側溝改良により未整備箇所や老朽化による排水障害の解消、舗装改良により損傷等による通行障害の解消により、安全で快適な道路空間の確保や市民の生活環境の向上等の効果が期待できる。	